一般社団法人 栃木県作業療法士会
令和４年　理事会議事録（第２回）

開催日時：2022 年 6 月 17 日（金）19：00 ～21:25
開催場所：宇都宮市茂原一丁目 1021 番地 7 （ZOOM 配信）
出席理事：仲田、横山、坂田、友利、板倉、須藤、和久井、有馬、山口、渡邊、高村、松川
出席副理事：野尻、野崎、寺尾、亀山、染谷、山崎
全理事 14 名中、１２名出席　　（全員ウェブ会議システムによる出席）
出席監事：　松崎、黒渕　　（全員ウェブ会議システムによる出席）
欠席：岩瀬、稲村、谷口
順不同、敬称略

議案
会長挨拶
本日の理事会はウェブ会議システム（ZOOM)を利用して行う旨を述べ、双方が画像、音声を確認したところ異常がなく、出席理事数が定款所定数を満たしたので有効に成立した旨を告げた。

I.報告事項
【会長】
①一般社団法人日本作業療法士協会定時社員総会（2022 年 5 月 28 日（土）13:30～）について
オンラインにて視聴
・永年会員制度創設および規程の承認：65 歳以上の会員が該当　年会費 3000 円　ご自身で申請が必要
②日本医療マネジメント学会栃木支部役員会（2022 年 5 月 31 日（火）14:00～ZOOM 開催）について
業務のため、欠席
③2022 年度第 1 回 47 都道府県委員会（2022 年 6 月 11 日（土）9:00～15:15 オンライン開催）について
横山副会長・渡邉理事・須藤理事・友利理事がオブザーバー参加
→議事録　理事回覧
④県内養成校卒の県内就職者数と士会入会数、協会入会数調査報告について（2021 年度第 8 回理事会決定事項）
2021 年度就職者数　41 名
→士会入会者 31 名（75%）　協会入会者 32 名（78%）
士会・協会未入会 9 名（全体の 22%）　　＊2022 年度期首時点
⑤2022 年度第 2 回 47 都道府県委員会へのオブザーバー協力について
9 月 10 日（土）～11 日（日）オブザーバーはオンラインでの参加となる
→どちらか 1 日でも可　　参加できる理事は仲田まで連絡
⑥県士会の財務・会計に関する相談について
税理士事務所との打ち合わせ相談を実施予定　　7 月 15 日（金）10 時から　仲田・横山出席
【副会長】
⑦令和 4 年度第 2 回専門職協会について
理事会　6 月 29 日（水）19：00～　Zoom　谷口・横山出席予定
【事務局】
⑧第 13 回 一般社団法人栃木県作業療法士会総会について
日時 ： 5 月 28 日 （土）開催
参加者 ：29 名（内 13 名が理事）
来月中に各施設へ議事録を発送予定
⑨三井住友クレジットカード（for owners)の解約に関して
新クレジットカード（VISA Business）への移行手続き完了に伴い、旧カードを 6 月 14 日付けで解約した。
⑩県士会説明資料について(添付資料参照)
新卒者、他県士会からの異動者向けに県士会説明資料を作成した
新入会員オリエンテーションをはじめ、士会 HP に掲載し各施設で活用いただく参考資料とする
⑪士会事務所について
照明器具の一部を貸主負担にて LED に変更
【事務局　総務部】
⑫法人税について
法人市民税・町民税：宇都宮市、上三川町に５月２日付けで納付（昨年度事務所移転したため）
【事務局　会員管理部】

⑬会員管理および会費納入状況について（6 月 9 日時点）

・会員数 ： 792 名
未入会： 3 名　　協会員だが士会非加入者： 15 名　　士会員だが協会非加入者： 10 名
入会者 ： 38 名（ 新規 31 名、再入会 7 名 ）　　退会者： 2 名　　強制退会者： 20 名

・会費納入： 令和 3 年度分　　1 名　（ 8,000 円 ）
令和 4 年度分　351 名　（ 2,808,000 円 ）

・領収書： 335 名分発行（6 月 16 日時点）

⑭旧主口座誤振込への対応について

一件（4 名分 32,000 円）あり

・誤振込された年会費は会員管理部の年会費用口座へ移動する。その際の振込手数料について、今年度は県士会負担、来年度以降は会員へ一度返金し手数料を含めた額を再度入金していただく。
・口座変更については引き続き周知をお願いしたい。

⑮強制退会通知について

強制退会者 20 名に対し、会員資格喪失の通知をメール・郵送にて送付（6/6、6/9）。
内 2 名は会員管理システムで連絡先を検索できず通知できていない。1 名は返送→17 名に送付済。

⑯県士会 HP の会員名簿について

会員専用ページの名簿を令和 2 年度から令和 3 年度版へ差し替え中。

⑰協会との会員情報の突合作業について

会員管理システムを用い、協会の会員情報とのすり合わせを進めている。

【事務局　財務部】

⑱会計担当者会議について

5/24(火)開催。参加者 26 名。欠席者向けに再度開催予定。

⑲会計マニュアルについて

改訂済み。各部委員会の会計担当者および理事に配布。

⑳士会口座について

・ネット口座はほぼ全ての部委員会で使用できるように振り分けた。
・栃銀口座は研修会等で収入のある部委員会に配布して主にパスマーケットの収入用に使用する。

㉑会議費や講師謝金について

・全てネット口座からの振り込みとし、現金でのやりとりは行わない。
・講師謝金は今年度より領収証のやりとりは行わない。明細のみメールで送付。

【地域リハビリテーション推進部】

㉒会議について

5/21：第 13 回訪問リハ･地域リーダー会議（訪問リハビリテーション振興財団主催）
→訪問リハビリ井澤部門長 1 名参加　別紙参照
5/25：地域包括ケア推進部門　第一回部門内会議　8 名参加
6/7：地域リハビリテーション推進部　第一回部門会議　14 名参加

㉓研修について

6/2：域支援事業に関する web 研修（日本作業療法士協会地域包括ケアシステム特設委員会主催）
→久米副理事、大藤県北ブロック長、菊池県央ブロック長、伊是名県南ブロック長の 4 名参加　別紙参照

【教育部】

㉔研修について（今後の予定）

・現職者共通研修
令和 4 年 7 月 24 日（日）
講義：「生涯教育概論」　講師：渡邉真一　（白澤病院）
「作業療法の可能性」　講師：大橋由美子氏　（マロニエ医療福祉専門学校）
「保険・医療・福祉と地域支援」　講師：大河内智弘氏　（介護老人保健施設　かさね）

・現職者選択研修：発達障害領域
令和 4 年 7 月 17 日（日）
講師：石塚有美氏　（栃木県立ハビリテーションセンター）
玉野彩氏　（自治医科大学附属病院）
関森英伸氏　（国際医療福祉大学）

・MTDLP 基礎研修
令和 4 年 7 月 31 日（日）
講師：池澤俊光氏を予定　（さつきホームクリニック）

・学生指導，新人教育意見交換会
令和 4 年 7 月 8 日（金）　19：00～

講師：野尻真生氏　　（マロニエ医療福祉専門学校）
内容：講師による学生の特性などのミニ講和
グループディスカッション、意見共有、質疑応答
定員：30 名程度を予定

・第 1 回臨床実習指導者講習会
令和 4 年 8 月 6 日（土），7 日（日）
開催事務局：マロニエ医療福祉専門学校
申込者：42 名（定員 50 名）

㉕生涯教育推進担当者会議について

令和 4 年 5 月 26 日（木）
内容：生涯教育制度推進担当者の役割
研修管理システムについて
参加者：渡邉真一（生涯教育制度推進担当者）

【学術部】

㉖研修について

実施報告
・6/10（金）第 1 回身体障害分野研修会　参加者 25 名（部員 4 名、士会員 21 名）
テーマ：「作業療法士が提供できる・期待される心臓リハビリテーション
身障領域編～病院入院患者への対応 ～」
講　師：須藤　誠氏（獨協医科大学日光医療センター：作業療法士）

実施予定
・6/18（土）第 1 回精神障害分野研修会
申込者数 13 名（士会員 8 名、他士会員 3 名、他職種 1 名、学生 1 名）
テーマ：「児童精神科における作業療法の実践」
講　師：松坂伸行氏、黒崎晴菜氏（青木病院：作業療法士）

㉗副理事について

・令和 4 年度より野﨑智仁氏（精神障害分野分野長）に依頼

【事業部】

㉘研修会について

実施報告
・5/27（金）第 1 回コンディショニングルーム運営研修会（オンライン）　参加者 17 名（協力会員全員参加）
内容：1. .全国障害者スポーツ大会とコンディショニングルームの概要　2. 競技別顔合わせ
講師：那須野利喜氏（株式会社 challenge、栃木県障がい者スポーツ指導者協議会事務局長）
競技担当者：三田雄介氏、岡田岳氏、亀山朋子氏

実施予定
・7/3（日）第 2 回コンディショニングルーム運営研修会（対面）　参加者 17 名予定
場所：朝日病院体育館
内容：「テーピング・ストレッチ等演習」
講師：井川達也氏（国際医療福祉大学・理学療法士）

【福利厚生部】

㉙新人オリエンテーションについて

参加申し込み 6 名。前半 30 分程度で仲田会長が協会について、坂田事務局長が県士会について説明。
後半 30 分は座談会とする。理事参加は仲田会長、坂田事務局長、福利厚生部から和久井・稲村の 4 名。

【研修会検討委員会】

㉚委員会開催報告について

第 1 回検討委員会　5 月 12 日（月）19:00～20:55 開催　9 名出席
・研修会参加費徴収方法はすべて Pass Market とする。手数料は士会負担　→参加費規程を更新
・on-line 開催マニュアル、感染対策マニュアルを更新→県警戒度 2 以上で対面開催中止とする
・「団体からの事業協力や会員の派遣依頼に関わる研修会は主催団体の感染予防に関する基準を遵守する」をマニュアルに追記

㉛進捗状況について

・メール上でマニュアルの検討を進めている。
・近日中に第 2 回検討委員会を開催予定。

【記念誌作成準備委員会】

㉜ 記念誌の進捗状況について

・原稿は完成したが、製本におけるディテールについて協議中。
・総会議事録と同封し発送する予定であったが、来月中の納品が難しい場合は別途郵送する。

【災害リハビリテーション対策委員会】

㉝会議について

・第１回会議：令和４年６月３日（水）19:00～20:50 開催
・第２回会議：令和４年７～８月実施予定

【住宅改修・福祉用具委員会】

㉞会議について

・第１回会議：令和４年５月１３日（金）18:30～20:25 開催
・第２回会議：令和４年７月２０日（水）18:30～実施予定

Ⅱ.審議事項

【会長】

①2022 年度 47 都道府県委員会へのオブザーバー参加依頼について

第３回（12／10　オンライン開催）　岩瀬理事・山口理事・（有馬理事）
第４回（3／11　オンライン開催）　松川理事・板倉理事・（有馬理事）
参加に向けて調整をお願いしたい
→承認。岩瀬理事は今後確認、有馬理事は第４回の日程で参加。

②倫理問題への対応に向けた体制整備について

・協会倫理委員会の動きに合わせ、士会の倫理に関する対応も見直し、整備を図りたい
→承認。士会対応力の強化として、倫理問題フローチャートの見直しおよび倫理問題の処理に関する規定の策定へ
・今後の課題は、会員の倫理対応力向上に向けての取り組み
→承認。新人教育のみならず、中堅・ベテランスタッフ対象の研修会等も今後検討

【副会長】

③栃木県リハビリテーション専門職協会からの依頼について

事務局員として１名推薦して欲しいとのこと。OT 士会からどなたか推薦頂きたい。
・役割は、協会事務局長（三田氏）の手伝い（メール配信等）
・ST 士会は、三田氏と同じ職場の秋山氏
→横山副会長と推進部有馬理事で協議し決定後、理事報告とする。

④理学療法連盟からの協力依頼について

小川かつみ氏の選挙応援活動への協力依頼あり。
→ 横山氏より応援方法を選挙事務所へ確認。

【事務局　総務部】

⑤後援依頼に関して

とちぎの障がい福祉を明るくする実行委員会より、講演会及びにじ色まつりの後援依頼あり。添付資料参照。
→承認

【事務局　財務部】

⑥講師謝金規定について

・認定 OT は１時間につき 1,500 円の加算となっているが、認定 OT が助言者等に該当する場合の加算の処理はどの　ようにするべきか。＊助言者等（ファシリテーターなど）は１日単位での謝金支払いになっている。
→時間に関係なく、１回に 1,500 円加算に多数決にて決定
・講師謝金は時間単位で計算しているが、20 分や 40 分などの場合の計算方法を決めたい。
→5 分 960 円換算とすることで決定

【教育部】

⑦栃の実の閲覧方法について

県士会員専用ページをログインせずとも確認できるような方法はとれないか。特にパスワードが分からない会員もいると思われる中、栃の実を多くの会員に見ていただきたい。
→HP からの閲覧の場合は現行通りパスワードから入っていただく。マメールからの閲覧については県士会員専用ページはパスワードなしで閲覧できるように変更する。

【事業部】

⑧対面研修会の実施について

第２回コンディショニングルーム運営研修会（7/3（日）13:00~15:00 対面）　参加者 17 名予定
場所：朝日病院体育館
内容：「テーピング・ストレッチ等演習」
講師：井川達也氏（国際医療福祉大学・理学療法士）
演習のため、対面での実施が求められる。会場の広さは十分とれる。事前 2 週間の体調チェック、当日のマスク着用・消毒液の利用・体温測定、換気の徹底等、必要な処置を講じた中で開催は可能か。
＊会場の朝日病院としては、以上の対策を講じた上での利用許可は得ている。

→承認。

【第 12 回栃木県作業療法学会実行委員会】

⑨教育講演について

無料公開講座としたいが、いかがか。

→承認

【その他】

⑩事業活動費の分配について

本年度分の活動費が振り込まれるまでの間、金額に関わらず理事が私費で立替える現況を是正したい。次年度以降、年度初めに活動費を一括でいただくことは現実的に可能であるのか。また、入金の振込予定日はいつ頃になるか。財務部に確認したい。

→6 月 16 日付で各会計担当者へキャッシュカードを送付した。各担当者のカード受け取りを確認後、活動費分配予定。

→継続的な士会運営のため、総会前に活動費が必要な部は財務部へ連絡し、事前振り込みで対応していく。

⑪士会 HP の情報更新について

下記項目について情報更新が必要なため、広報部に早急に対応いただきたい。HP に掲載されている内容の信憑性を担保する上でも、変更の都度、更新をお願いしたい。

○各部・委員会の紹介

・各部の理事・副理事・部員を最新に変更する。

・項目の統一を図る（事業内容・構成部員紹介）

・事務局 → 総務部 と会員管理部に分けて掲載

・財務部 → 問い合わせ先アドレスの変更

・学術部 → 事業計画 平成 30 年度を変更

・福利厚生部→上記同様

・常設委員会：リハフォーラム実行委員会 → 事業報告・事業計画を変更
倫理委員会 → 担当者変更、問い合わせ先の変更
災害リハビリテーション対策委員会 → 事業計画の変更

○活動報告

・平成 20 年度分のみ掲載されており更新がなされてない様子。項目として不要であれば削除しても良いのではないか。

○ダウンロード

・ 会員異動・退会届の削除

○県士会組織の紹介

・組織図の最新を掲載

・役員の更新・顔写真

→以上、広報部で対応する。事務員への業務委託も検討していく。

⑫委嘱状について

総務部にて各部の委員を集約し、令和 4 年度委嘱状の発行準備を進めて欲しい。

→今月末日までにグーグルドライブ上の委員名簿を確認し、変更があれば記載。確認が終わり次第、「済み」と記載する。

⑬会員個人情報に関する覚書締結に伴うプライバシーポリシーの公表について

個人情報保護法では以下のように規定されている

1）個人情報の利用目的を公表（通知）する義務 （同法 18 条 1 項）

2）個人情報を第三者に提供する際に本人からの同意を得る義務（同法 23 条）

個人情報を扱う職能団体もこれらの義務を遵守しなければならない。

2）に関して、協会と士会間の情報のやりとりは、個人情報第 23 条第 5 項第 3 号「特定の者との間で共同して利用される個人データが当該特定の者に提供される場合」となり、第三者には該当しない（協会顧問弁護士）。

→士会としては、1）への対応を行う。覚書締結後は以下の通知・公表が必要。

（会員個人データの共同利用について）

- 個人データが当該特定の者に提供される旨
- 共同して利用される個人データの項目
- 共同して利用する者の範囲
- 利用する者の利用目的及び当該個人データの管理
- 以上の責任を有する者の氏名又は名称

→上記を記載した文書を会員管理部が作成し、ホームページ上にプライバシポリシーを広報部が掲載する方向で準備を進めて欲しいが如何か。

→承認。文書作成次第、理事回覧後ＨＰへ掲載予定。

⑭士会 HP へのリンクについて

「認知リハビリテーション研究会」より士会 HP にリンク依頼があったが、可能か。

→承認。士会 HP にリンクページを作成し対応する